

**冠山峠道路事業等の推進を  
国へ要望しました**

8月28～29日、岡部町長、村瀬町議会議長が、総務省、財務省、農林水産省、国土交通省および地元選出国會議員等へ要望活動を実施しました。

《要望内容》冠山トンネル周辺の携帯電話不感地帯の解消および冠山峠道路事業・越美山系砂防事業・掛斐川堤防整備事業・木曾川水系連絡導水路事業・治山事業・林道事業など公共事業の予算確保・事業推進

《主な要望先》松本総務大臣／漆畑主計局主計官／長井農村振興局長／西田国土交通大臣政務官／青山林野庁長官／金尾水資源機構理事／棚橋衆議院議員／大野参議院議員／渡辺参議院議員  
※要望時の氏名、役職名で記載しています。



【国土交通省】西田国土交通大臣政務官(写真右から2番目)へ要望書を手渡す岡部町長、村瀬町議会議長



【総務省】松本総務大臣(写真中央)へ要望書を手渡す岡部町長、村瀬町議会議長



【林野庁】青山林野庁長官(写真右から2番目)へ要望書を手渡す岡部町長、村瀬町議会議長

**第1回貝月山白龍トレイルラン  
瀬音まつりが開催されました**

9月9日(土)、掛斐高原貝月リゾートで、第1回貝月山白龍トレイルラン・瀬音まつりが開催されました。

この催しは、久瀬地域の観光名所である掛斐高原リゾートを一層盛り上げていくことを目的に、トレイルランと恒例の瀬音まつりを同時開催されたものです。

当日は、トレイルラン名誉会長の岡部町長の号砲によりスタートし、全国から266名のランナーが、掛斐高原から貝月山を遊走されました。

また、会場では、音楽ショーや水鉄砲大会、魚つかみ、物産展など、さまざまな催しが行われ、多くの来場者が日坂地区の高原を楽しんでいました。



▲スタートを切るランナーの皆さん

**中学生と町長が語る会が  
行われました**

9月13日(水)、中学生と町長が語る会がオンラインで行われ、町内の中学生3年生と町長が、これからのまちづくりに関する考えを交流しました。

この会は、代表生徒のみで行われていた中学生議会が、より多くの中学生の意見が反映されるようにと、昨年度より形式を変えて行われたものです。

中学生からは「学校設備改善等について」、「通学環境等について」、「掛斐川町の活性化・利便性について」、「掛斐川町の産業振興について」の4つの提言がありました。

提言を受けた岡部町長は、「中学生の皆さんの豊かな発想を生かした提案を、今後の町政に反映させていきたい」と話しました。



▶オンライン形式で交流する中学生と岡部町長

**いび幼稚園で人権擁護委員による  
創作劇が上演されました**

9月13日(水)、いび幼稚園において、大垣人権擁護委員協議会による創作劇「ぞうさんのおはな」が上演されました。

48人の園児たちは、委員が扮したゾウやサル、カバなどが演じる劇を楽しみながら、個性を認め合うことの大切さを学びました。

なお、掛斐川町人権擁護委員会では、毎月1回掛斐公民館において、人権相談を実施しています。誰にも話せない悩み事などの相談を法務大臣が委嘱した人権擁護委員がお聴きします。

相談は無料で、秘密は固く守られます。相談日は、くらしのカレンダーをご確認ください。



▲劇を通して人権を学ぶ園児たち



▲避難所設営訓練の様子

9月23日(土・祝)、南海トラフ地震を想定した、揖斐川町避難訓練および、避難所設営・運営訓練が行われました。訓練は、静岡県駿河湾から紀伊半島南東沖を震源とする地震が発生したことを想定したもので、町内全域を対象として避難訓練を実施し、その後、揖斐川健康広場および、各振興事務所管内会場の計6会場で、避難所設営・運営訓練を実施しました。

主会場の揖斐川健康広場では、揖斐郡消防組合による応急手当等の講習会、揖斐川町社会福祉協議会によるボランティアセンター開設訓練、自衛隊による炊き出し訓練、協定先各社による防災資機材の展示など、さまざまな取り組みが行われ、地域と一体となって防災意識を高めました。

揖斐川町避難訓練および避難所設営・運営訓練を実施しました



▲派遣認定書を受け取る生徒

9月25日(月)、揖斐川町役場で令和5年度中学生海外派遣事業派遣認定書交付式が行われました。

この事業は、マラソン交流を続けているアメリカ合衆国ユタ州セントジョージ市に、町の将来を担う中学生を派遣し、現地の人々との交流を通じて、文化や歴史などを学び、国際性豊かな人材の育成を図ることを目的として行われています。

今回派遣される22名の生徒は、町長から派遣認定書を手渡され、研修への意気込みを語りました。

なお、派遣期間は、来年1月18日(木)から26日(金)までです。

中学生・高校生海外派遣事業派遣認定書交付式



▲ランナーの皆さん

10月4日(水)から10月11日(水)まで、アメリカ合衆国ユタ州セントジョージ市とのマラソン交流事業が行われました。2019年のいびがわマラソンで優秀な成績を収めたランナーの皆さんが、10月7日(土)開催のセントジョージマラソンに参加し、全員が完走されました。

成績は次のとおりです。(敬称略)

河野 孝志	2時間26分58秒
(男子フル) 村上 史恵	3時間5分56秒
(女子フル) 安藤 大明	2時間42分57秒
(男子フル) 平井 律子	3時間36分32秒
(女子フル)	206位 (年代別 8位)

セントジョージマラソン国際交流事業



▲研修会の様子

9月2日(土)、地域交流センターはなももで「認知症サポーター研修」を開催しました。

これは9月の「世界アルツハイマー月間」に合わせたもので谷汲中央診療所の西脇医師と久瀬診療所の松井看護師を講師に招き、10代から80代の参加者58名が受講しました。

講師からは認知症の症状や薬の効果の説明、予防のための生活習慣など画像を使って丁寧話していただきました。参加された方は「分かりやすい内容で基礎から応用まで聞くことができたい」「また参加したい」との声が聞かれました。

青年・成人講座「認知症サポーター研修」を開催しました